

Press Information

±80Vフォルト保護、フェイルセーフ、+3.3V RS-485トランシーバ

MAX3430は、±80Vフォルト保護、フェイルセーフ、RS-485トランシーバで、RS-422/RS-485通信バスライン及び工業用制御ローカルエリアネットワークに最適です。このデバイスは、1つのドライバと1つのレシーバで構成されており、動作時、シャットダウン時、またはパワーオフ動作時に最大±80Vまでのフォルト耐性を備えています。この内部回路により、通常の-7V~+12Vの動作範囲を超えるフォルト状態からトランシーバを保護します。

MAX3430は+3.3Vの単一電源から動作し、消費電力は33mW未満と、標準的な5Vトランシーバよりも低電力です。ホットスワップ機能によって、活線挿抜した場合でも誤データ転送はありません。これは、ドライバインペーブルで最初の遷移が起こるまで出力ドライバをハイインピーダンス状態に維持することによって実現されます。

MAX3430では、EMI放射を最小限に抑え、バスラインからの反射を低減するためにスルーレート制限の機能を備えており、これにより最高250kbpsのエラーフリーのデータ転送が可能になります。このデバイスには、1/4ユニット負荷のレシーバ入力インピーダンスを備え、同一バス上に最高128個のトランシーバが接続可能です。フェイルセーフ回路により、レシーバ入力オープン時、ロジックハイレシーバ出力が保証されます。

MAX3430は8ピンナローSOPパッケージ及びPDIPパッケージで提供され、民生用温度範囲(0~+70)及び工業用拡張温度範囲(-40 ~+85)での動作が保証されています。

